

令和8年度前期 131 科学と人間生活

- 1 使用教科書 「改訂版 科学と人間生活」(数研出版)
- 2 使用学習書 「科学と人間生活」(NHK出版)
- 3 使用教室 (時間割で確認すること)
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日			
1	5月20日(水)	人間生活の歴史、化学の基礎	1	P.4~13・14~19	P.32~34				
2	6月17日(水)	第1編 物質の科学 第1章 材料とその再利用	7~9	P.14~41	P.35~51				
3	7月15日(水)	第2編 生命の科学 第2章 微生物とその利用	2~3	P.92~115	P.8~17				

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うら(2枚づつ)の全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-131-回数」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で前期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」の2つを忘れたら出席を認めません。また、教室を間違えた場合、出席認定はできません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
- ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
- ④ 面接時間は、レポートの作成を行う時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組んでください。
- ⑤ 各レポートの最後に「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。空欄でもレポートは返却・再提出になりませんが、観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、10点満点で採点します。
- ⑥ 成績は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。①と②は、定期考査で分野別に配点・採点します。③は科学と人間生活の場合、「レポート全体的評価：レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題：面接指導=55:30:15」として採点します。最終的に①・②・③の点数を合算して「評点」を算出します。
- ⑦ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるためにできる限り多くの面接に参加しましょう。

令和8年度 前期 132 物理基礎

- 1 使用教科書 「高等学校 改訂 新物理基礎」(第一学習社)
- 2 使用学習書 「新編 物理基礎」(NHK出版)
- 3 使用教室 (時間割で確認すること)
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日
1	5月20日(水)	第1章 運動とエネルギー 第1節 物体の運動 物理に役立つ数学	1~6	p. 6~39 p. 205~208	p. 19~63 p. 7~18	
2	6月17日(水)	第1章 運動とエネルギー 第2節 力と運動の法則 物理に役立つ数学	7~15	p. 40~77 p. 205~208	p. 64~118 p. 7~18	
3	7月15日(水)	第1章 運動とエネルギー 第3節 仕事と力学的エネルギー 物理に役立つ数学	16~19	p. 78~95 p. 205~208	p. 119~155 p. 7~18	

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導(授業)出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私話、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 提出期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもてうらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-132-回数」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で前期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担任からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」の2つを忘れたら出席を認めません。また、教室を間違えた場合、出席認定はできません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
- ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
- ④ 面接時間は、レポートの作成を行う時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
- ⑤ 空欄が3つ以上あった場合や記述内容が不十分な場合、図示の問題等で色塗りや作図の指示に従わなかった場合は、レポートは受付されず、不備として返却されます。
- ⑥ 次のような場合、レポートは再提出となるので注意すること。
・理解が不十分な場合、合格点に満たない場合。
★各レポートの最後に「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。空欄でもレポートは返却・再提出になりませんが、観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、10点満点で採点します。問題の指示に従い、レポートの学習範囲やこれまでの経験等を使って、総合的な視点から記述することが大切です。返却後は担当者のアドバイスを参考に、次の学習に生かしていきましょう。
- ★成績は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。①と②は、定期考査で分野別に配点・採点します。③は物理基礎の場合、「レポート全体的評価：レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題：面接指導=55:30:15」として採点します。最終的に①・②・③の点数を合算して「評点」を算出します。
- ⑦ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるために、できる限り多くの面接に参加しましょう。

令和8年度前期 133 化学基礎

- 1 使用教科書 「高等学校 改訂 新化学基礎」(第一学習社)
- 2 使用学習書 「新編 化学基礎」(NHK出版)
- 3 使用教室 (時間割で確認すること)
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日			
1	5月20日(水)	第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素 物質の分離～物質の三態	2～5	P.20～33	P.6～20				
2	6月17日(水)	第1節 物質とその構成要素 原子のなりたち～元素の周期律と周期表	6～9	P.34～43	P.21～33				
3	7月15日(水)	第2節 化学結合 イオン～化学結合と物質の分類	10～14	P.50～75	P.34～55				

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-133-回数」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で前期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30～16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」の2つを忘れたら出席を認めません。また、教室を間違えた場合、出席認定はできません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
- ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
- ④ 面接時間は、レポートの作成を行う時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組んでください。
- ⑤ 各レポートの最後に「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。空欄でもレポートは返却・再提出になりませんが、観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、10点満点で採点します。
- ⑥ 成績は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。①と②は、定期考査で分野別に配点・採点します。③は化学基礎の場合、「レポート全体的評価：レポート中の主体的に学習に取り組む態度」の評価問題：面接指導＝55：30：15として採点します。最終的に①・②・③の点数を合算して「評点」を算出します。
- ⑦ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるためにできる限り多くの面接に参加しましょう。

令和8年度前期 134 生物基礎

- 1 使用教科書 「改訂版 新編 生物基礎」(数研出版)
- 2 使用学習書 「新編 生物基礎」(NHK出版)
- 3 使用教室 (時間割で確認すること)
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日			
1	5月20日(水)	第1章 生物の特徴 第1節 生物の多様性と共通性 第2節 エネルギーと代謝	1~5	P.8~11 P.26~43 P.214~216	P.8~21				
2	6月17日(水)	第3節 呼吸と光合成 第2章 遺伝子とそのはたらき 第1節 遺伝情報とDNA	6~10	P.44~69	P.22~35				
3	7月15日(水)	第2節 遺伝情報の複製と分配 第3節 遺伝情報の発現	11~15	P.70~89	P.36~48				

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合には再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-134-回数」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合には即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で前期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」の2つを忘れたら出席を認めません。また、教室を間違えた場合、出席認定はできません。
- ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておきます。
- ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
- ④ 面接時間は、レポートの作成を行う時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組んでください。
- ⑤ 各レポートの最後に「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。空欄でもレポートは返却・再提出になりませんが、観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、10点満点で採点します。
- ⑥ 成績は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。①と②は、定期考査で分野別に配点・採点します。③は生物基礎の場合、「レポート全体的評価：レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題：面接指導=55：30：15」として採点します。最終的に①・②・③の点数を合算して「評点」を算出します。
- ⑦ 必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるためにできる限り多くの面接に参加しましょう。

令和8年度 前期 135 地学基礎

- 1 使用教科書 「改訂版 高等学校 地学基礎」(数研出版)
- 2 使用学習書 「地学基礎」(NHK出版)
- 3 使用教室 (時間割で確認すること)
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日
1	5月20日(水)	第1編 活動する地球 第1章 地球の構造、第2章 プレートの運動	1~5	p. 8~37	p. 7~37	
2	6月17日(水)	第1編 活動する地球 第3章 地震、第4章 火山	6~10	p. 38~89	p. 38~61	
3	7月15日(水)	第2編 移り変わる地球 第1章 地層の形成、第2章 古生物の変遷と地球環境	25~32	p. 92~137	p. 115~164	

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導(授業)出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 提出期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-135-回数」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で前期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担任からの連絡>

- ① 「教科書」、「氏名バーコードシール」の2つを忘れたら出席を認めません。また、教室を間違えた場合、出席認定はできません。
 - ② 携帯電話は電源を切り、飲食物(ペットボトルなど)と共にきちんとカバンに入れ、机上(机の中)やポケットの中に入れておかない。
 - ③ やむを得ない事情を除き、面接時間中に途中退席した場合は出席となりません。
 - ④ 面接時間は、レポートの作成を行う時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組むこと。
 - ⑤ 空欄が3つ以上あった場合や記述内容が不十分な場合、図示の問題等で色塗りや作図の指示に従わなかった場合は、レポートは受付されず、不備として返却されます。
 - ⑥ 次のような場合、レポートは再提出となるので注意すること。
 - ・理解が不十分な場合、合格点に満たない場合。
- ★各レポートの最後に「主体的に学習に取り組む態度」の評価問題があります。空欄でもレポートは返却・再提出になりませんが、観点別評価の対象ですので、積極的に取り組みましょう。「主体的に学習に取り組む態度」の問題は、レポート毎に、10点満点で採点します。問題の指示に従い、レポートの学習範囲やこれまでの経験等を使って、総合的な視点から記述することが大切です。返却後は担当者のアドバイスを参考に、次の学習に生かしていきましょう。
- ★成績は、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体性の3つの観点から、レポート・定期考査・面接指導などを総合的に評価します。①と②は、定期考査で分野別に配点・採点します。③は地学基礎の場合、「レポート全体的評価：レポート中の主体的に学習に取り組む態度の評価問題：面接指導=55:30:15」として採点します。最終的に①・②・③の点数を合算して「評点」を算出します。
- ⑦必要面接時数は4時間ですが、理解を深めるために、できる限り多くの面接に参加しましょう。

NHKテレビ 高校講座 科学と人間生活

2026年度 年間放送計画表 (案)

(2025年11月19日現在)

Eテレ 金曜日・隔週放送 午前10:00～10:20

※この番組は、前年度の放送です。
※放送内容は変更される可能性があります。
※この放送は、NHKの著作権によるものです。

放送日	学習のポイント
4/24	<ul style="list-style-type: none"> ●SDGsの今 ●科学の力が未来を変える ●一人ひとりの力で
5/ 8	<ul style="list-style-type: none"> ●超国の/VR/ARに守られる ●脳内フローラ ●感染症
22	<ul style="list-style-type: none"> ●発酵食品 ●生態系の中での微生物の役割 ●微生物で感染症を作る
6/ 5	<ul style="list-style-type: none"> ●目の構造 ●音波・聴覚 ●体内時計
19	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症 ●ウイルス ●細胞
7/ 3	<ul style="list-style-type: none"> ●眼の仕組み ●遺伝子とはどう働く? ●遺伝子研究の未来
17	<ul style="list-style-type: none"> ●プラスチックのリサイクル ●金属のリサイクル ●ガラスのリサイクル
31	<ul style="list-style-type: none"> ●金属の種類と用途 ●レタメタル ●セラミックス
<p>夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 高校講座全体から選んだ授業のための再放送などを 科目の隔開中をばなれて放送します。</p>	
9/11	<ul style="list-style-type: none"> ●プラスチックの種類 ●プラスチックの性質 ●マイクロプラスチック
25	<ul style="list-style-type: none"> ●天然繊維 ●化学繊維 ●新しい繊維
10/ 9	<ul style="list-style-type: none"> ●三大栄養素 ●ビタミンとミネラル (無機物) ●新しい創作料理
23	<ul style="list-style-type: none"> ●光の色と波長 ●多様な色を作る ●立体映像
11/ 6	<ul style="list-style-type: none"> ●宇宙から見る ●衛星物を知る ●自動運転が進く未来
20	<ul style="list-style-type: none"> ●祭りの利用 ●ヒートポンプ ●エココンのしくみ
12/ 4	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでのエネルギー ●空を飛ぶエネルギー ●再生可能エネルギー
18	<ul style="list-style-type: none"> ●世界のエネルギーマップ ●途上国のエネルギー事情 ●原子力発電
<p>冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) 高校講座全体から選んだ授業のための再放送などを 科目の隔開中をばなれて放送します。 ※12月31日～1月3日は放送します。</p>	

※「タイトル/学習のポイント」は、制作の過程で変更になる場合があります。

1/15	17 暦とくらし ～太陽系の中の地球と月～	<ul style="list-style-type: none"> ●太陽と月 ●暦の引き ●月の歴史
29	18 太陽が動かす大気と水 ～気象の科学～	<ul style="list-style-type: none"> ●大気のエネルギー ●大気と海洋 ●気候と気象災害
2/12	19 世界の絶景ポイント ～地球の活動がもたらす景観と災害～	<ul style="list-style-type: none"> ●火山活動 ●多様な地形
26	20 地震と津波 ～自然災害に備える～	<ul style="list-style-type: none"> ●地震災害 ●津波災害 ●災害を予測する
<p>春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) 高校講座全体から選んだ授業のための再放送などを 科目の隔開中をばなれて放送します。 (放送予定)</p>		

NHK テレビ 高校講座 物理基礎

(2025年11月19日放送)

2026年度 年間放送計画表 (案)

Eテレ 木曜日 午前10:30～10:50

※この番組は、前年秋の再放送です。
※放送内容は放送内容や不明な点などの変更になる場合があります。その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	編	タイトル	学習のポイント
4/16	1	運動の表し方	●運動の表し方 ●速さの表し方 ●変位と距離 ●ものの動きをグラフで表す ●ものの動きを式で表す ●合成速度と相対速度
23	2	等速直線運動	●速度が変わる運動を調べる ●加速直線運動の速度
30	3	速度が変わる運動	●加速直線が一定の運動を調べる ●加速直線が一定の運動をグラフで表す ●落下する物体の運動 ●自由落下運動の加速度 ●落下運動を式で表す
5/7	4	等加速度直線運動	●加速直線が一定の運動を調べる ●加速直線が一定の運動をグラフで表す ●落下する物体の運動 ●自由落下運動の加速度 ●落下運動を式で表す
14	5	自由落下運動	●自由落下運動の加速度 ●落下運動を式で表す
21	6	投げられたものの運動	●鉛直投げ ●水平投げ ●斜方投げ ●力とは ●力の表し方 ●2つの力のつり合い
28	7	力とつり合い	●2つの力を1つの力と見なす ●3つ以上の力のつり合い ●1つの力を2つに分ける
6/4	8	力の合成と分解	●鉛直投げ ●弾性力 ●フックの法則
11	9	垂直抗力と弾性力	●ものばね定数 ●力のばね定数と速度 ●質量
18	10	慣性の法則	●慣性 ●力がなければと速度が変わる ●力と加速度 ●質量と加速度 ●運動方程式
25	11	運動の変化と力	●力とは ●作用・反作用の法則 ●運動の3法則
7/2	12	作用反作用の法則	●力とは ●作用・反作用の法則 ●運動の3法則
9	13	動摩擦力和静止摩擦力	●動摩擦力 ●静止摩擦力 ●最大静摩擦力
16	14	空気の抵抗力	●空気の抵抗力 ●重力 ●水圧 ●浮力 ●浮力と沈没の原理 ●仕事 ●仕事の原理 ●仕事率
23	15	水圧と浮力	●仕事 ●仕事の原理 ●仕事率
30	16	仕事と仕事率	●仕事 ●仕事の原理 ●仕事率
<p>夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金)</p> <p>高校講座を卒業した人から受講のための再放送などを 科目の別冊をばねに放送します。</p>			
9/3	17	運動エネルギー	●動いている物体の持つエネルギー ●運動エネルギーを式で表す ●仕事とエネルギー
10	18	位置エネルギー	●高いところにある物体が持つエネルギー ●ばねに弾性エネルギー ●位置エネルギー
17	19	力学的エネルギーの保存	●力学的エネルギーとは ●力学的エネルギー保存の法則 ●力学的エネルギーが保存されないとき

※「タイトル/学習のポイント」は、制作の過程で変更になる場合があります。

24	20	温度と熱	●温度 ●熱量の三態 ●熱量の保存 ●比熱容 ●比熱容
10/1	21	熱の移動と保存	●熱の移動 ●熱のエネルギー保存則 ●熱伝導と対流
8	22	熱と仕事	●熱と仕事 ●熱と仕事
15	23	物理で解決しよう①	●ここまでの物理基礎の学習成果を使って問題を解決する
22	24	波の表し方	●波とは ●波の伝わり ●媒質の振動のようすを調べる ●波の伝わり ●波の伝わり
29	25	横波と縦波	●横波と縦波 ●波の伝わり ●波の伝わり
11/5	26	波の重ね合わせ	●波の独立性と重ね合わせの原理 ●定常波 ●波の反射 ●波の干渉
12	27	音波	●音の3要素 ●音の速さ ●音の干渉
19	28	弦の固有振動	●音の干渉 ●音の干渉 ●音の干渉
26	29	気体の固有振動	●気体の固有振動 ●気体の固有振動 ●気体の固有振動
12/3	30	静電気と電流	●静電気 ●電流 ●電流
10	31	電流と電気抵抗	●電流 ●電気抵抗 ●電気抵抗
17	32	電力と電力屋	●電力 ●電力 ●電力
24	33	電流が作る磁場	●磁石のまわりの磁界 ●電流が作る磁界 ●電流が作る磁界
<p>冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金)</p> <p>高校講座を卒業した人から受講のための再放送などを 科目の別冊をばねに放送します。</p>			
1/14	34	発電機のおくみ	●発電機 ●発電機 ●発電機
21	35	直流と交流	●直流と交流 ●交流 ●交流
28	36	電磁波	●電磁波 ●電磁波 ●電磁波
2/4	37	物理で解決しよう②	●ここまでの物理基礎の学習成果を使って問題を解決する
11	38	エネルギーの変換と保存	●エネルギー ●エネルギー ●エネルギー
18	39	原子核のエネルギー	●原子核 ●原子核 ●原子核
25	40	エネルギーの利用と課題	●エネルギー ●エネルギー ●エネルギー
<p>春期講座 3月1日(月)～4月2日(金)</p> <p>高校講座を卒業した人から受講のための再放送などを 科目の別冊をばねに放送します。</p>			

NHKテレビ 高校講座 化学基礎

(2025年11月19日放送)

2026年度 年間放送計画表 (案)

Eテレ 火曜日 午前10:20～10:40

※この番組は、前年度の放送です。
※放送内容は放送局や放送形態などで変更になる場合があります。その際は番組ホームページでお知らせいたします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/14	1 私たちのくらしと化学	●人間の歴史と化学 ●食料からプラスチックまで ●化学の発展とは？
21	2 純物質と混合物	●物質の性質 ●混合物の性質 ●混合物の分類と提製
28	3 物質の三態	●物質の結晶化 ●粒子の間隙 ●元素と元素記号 ●出体と化合物
5/5	4 単体と化合物	●同素体 ●元素記号 ●化合物
12	5 元素の確認	●炎色反応で元素を調べる ●この元素は何？ ●制限による検出
19	6 原子	●原子の構造 ●原子の大きさ ●同位体
26	7 原子核と電子	●原子番号 ●質量数 ●原子の電子配置
6/2	8 電子殻と電子配置	●電子の並び方 ●殻について ●原子番号と電子配置の秘密
9	9 元素の周期表	●周期表とは？ ●知たなメンブリーエー ●周期表の読み方
16	10 イオンの形成	●イオンとは？ ●イオンの分類 ●イオン化エネルギー
23	11 イオン結合とイオン結晶	●陽イオンと陰イオンの結合 ●イオンでできた化合物 ●イオンでできた化合物のまじり
30	12 分子と共有結合	●分子とは？ ●共有結合 ●結合と結合式
7/7	13 分子の極性	●電気陰性度 ●結合の極性 ●無極性分子と極性分子
14	14 金属と金属結合	●金属の性質 ●金属結合とは？ ●金属の用途
21	15 物質の性質を学ぶ①～無機物質～	●身の回りの無機物質 ●無機物質の活用 ●無機物質の可塑性
28	16 物質の性質を学ぶ②～有機化合物～	●有機化合物 ●高分子化合物とは？ ●新しい機能を持ったプラスチック
夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 夏期講座全6回から選んだ授業のための別冊などを 科目の別冊をはなれて放送します。		
9/1	17 構成粒子と物質の分類	●原子と化学結合の関係 ●原子と化学結合の関係 ●原子の相対質量 ●原子量と同位体の存在比 ●分子量・式量を求める
8	18 原子量・分子量・式量	●原子量と同位体の存在比 ●分子量・式量を求める
15	19 物質量	●アボガドロ定数 ●物質量と粒子の数 ●物質量から何がわかる？

※「タイトル」/学習のポイントには、制作の過程で変更になる場合があります。

22	20 物質量と気体の体積	●気体1molの体積 ●アボガドロの法則 ●気体の密度と分子量
29	21 溶液の濃度	●溶液の濃度 ●質量パーセント濃度 ●モル濃度
10/6	22 化学反応式	●化学反応式 ●化学反応式の書き方 ●イオン反応式
13	23 化学反応式と量的関係	●化学反応式の係数 ●係数と物質量 ●化学反応式の量的関係
20	24 化学がたくどってきた道	●世界の化学 ●日本人の化学 ●日本の化学
27	25 酸と塩基	●身近な酸と塩基を探そう！ ●酸・塩基ってなに？ ●広い意味での酸・塩基
11/3	26 酸と塩基の強さ	●強い酸と弱い酸 ●強酸を考えよう！ ●酸と塩基の中和
10	27 水素イオン濃度とpH	●H ⁺ とOH ⁻ でわかる？ ●pHってなに？ ●酸性・中性・塩基性 ●いろいろなpH指示薬
17	28 指示薬とpHの測定	●身の回りの物質のpH ●指示薬のpH
24	29 中和反応と塩の性質	●中和反応とは？ ●塩の性質 ●塩の強さ？ ●中和反応の中和性？
12/1	30 中和反応の利用	●家庭での中和反応 ●食品にも中和反応 ●H ⁺ とOH ⁻ で何がわかる？ ●酸と塩基の量的関係 ●中和したことを確かめる
8	31 中和反応の量的関係	●中和反応とは？ ●中和反応をやってみよう ●中和反応と指示薬の選択
15	32 中和滴定	●中和滴定とは？ ●中和滴定をやってみよう ●指示薬と指示薬の選択
22	33 酸化・還元	●酸化のやりとり ●還元剤と酸化剤 ●酸化還元反応の観察
冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) 冬期講座全6回から選んだ授業のための別冊などを 科目の別冊をはなれて放送します。		
1/12	34 酸化・還元と酸化数	●酸化数のやりとり ●酸化数の求め方 ●酸化数の酸化と還元
19	35 酸化剤と還元剤	●酸化剤と還元剤とは？ ●酸化剤と還元剤の反応 ●酸化剤と還元剤の利用
26	36 金属のイオン化傾向	●酸化剤と還元剤とは？ ●金属の酸化と還元 ●酸化還元反応と日常生活
2/2	37 電池と電気分解	●酸化還元反応と日常生活 ●電池の酸化と還元 ●電気分解とは？
9	38 身近な酸化還元反応	●酸化還元反応と日常生活 ●電池の酸化と還元 ●電気分解とは？ ●金属の酸化
16	39 化学がたくど世界① ～くらしを支える科学技術～	●身近な科学技術 ●歴史を保存する科学技術 ●安全なくらしを守る科学技術
23	40 化学がたくど世界② ～持続可能な社会と科学技術～	●持続可能な世界のための科学技術 ●このわたりの社会と化学
春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) 春期講座全6回から選んだ授業のための別冊などを 科目の別冊をはなれて放送します。		

NHKテレビ 高校講座 生物基礎

(2025年11月19日放送)

2026年度 年間放送計画表 (案)

Eテレ 火曜日 午前10:00～10:10

※この番組は、前年度の再放送です。
※放送内容は各放送局や放送形態などで変更になる場合があります。その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/14	1 生物の特徴	●生物と無生物のちがいをあげてみるよう ●動物と植物のちがいを ●動物でも植物でもないもの ●地球上ですべて多様な生物 ●進化の系統(系統樹) ●進化の道徳
21	2 生物の多様性	●生物の多様性 ●生物の多様性の重要性 ●生物の多様性の保全 ●生物の多様性の保全の重要性
28	3 生物の共通性	●生物の共通性 ●生物の共通性の重要性 ●生物の共通性の保全 ●生物の共通性の保全の重要性
5/5	4 細胞の特徴	●細胞の構造 ●細胞の機能 ●細胞の共通性 ●細胞の共通性の重要性
12	5 生体とATP	●生体とATP ●ATPの構造 ●ATPの機能 ●ATPの重要性
19	6 酵素のはたらき	●酵素のはたらき ●酵素の構造 ●酵素の機能 ●酵素の重要性
26	7 呼吸	●呼吸の仕組み ●呼吸の重要性 ●呼吸の機能 ●呼吸の重要性
6/2	8 光合成	●光合成の仕組み ●光合成の重要性 ●光合成の機能 ●光合成の重要性
9	9 生物と遺伝子	●生物と遺伝子 ●遺伝子の構造 ●遺伝子の機能 ●遺伝子の重要性
16	10 DNAの構造	●DNAの構造 ●DNAの機能 ●DNAの重要性 ●DNAの重要性
23	11 DNAの複製と分配	●DNAの複製 ●DNAの分配 ●DNAの複製の重要性 ●DNAの分配の重要性
30	12 タンパク質	●タンパク質の構造 ●タンパク質の機能 ●タンパク質の重要性 ●タンパク質の重要性
7/7	13 タンパク質と遺伝情報①	●タンパク質と遺伝情報 ●タンパク質の構造 ●タンパク質の機能 ●タンパク質の重要性
14	14 タンパク質と遺伝情報②	●タンパク質と遺伝情報 ●タンパク質の構造 ●タンパク質の機能 ●タンパク質の重要性
21	15 細胞の分化と遺伝子	●細胞の分化 ●遺伝子の役割 ●細胞の分化の重要性 ●遺伝子の役割の重要性
28	16 遺伝子と私たち	●遺伝子と私たち ●遺伝子の役割 ●遺伝子の重要性 ●遺伝子の重要性
<p>夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 高校講座生体から遺伝子まで学習のための知識などを科目の期間枠をはなれて放送します。</p>		
9/1	17 体内環境	●体内環境 ●体内環境の重要性 ●体内環境の機能 ●体内環境の重要性
8	18 神経系による情報伝達①	●神経系による情報伝達 ●神経細胞の構造 ●神経細胞の機能 ●神経細胞の重要性
15	19 神経系による情報伝達②	●神経系による情報伝達 ●神経細胞の構造 ●神経細胞の機能 ●神経細胞の重要性

※「タイトル」/学習のポイントは、制作の過程で変更になる場合があります。

22	20 内分泌系による情報伝達	●ホルモンとは何か？ ●ホルモンによる調節 ●ホルモンの分泌腺の調節 ●ホルモンの作用
29	21 血液循環の調節	●血液循環とは何か？ ●血液循環の重要性 ●血液循環の機能 ●血液循環の重要性
10/6	22 人体図鑑	●人体図鑑 ●人体図鑑の重要性 ●人体図鑑の機能 ●人体図鑑の重要性
13	23 免疫のしくみ①	●免疫のしくみ ●免疫の重要性 ●免疫の機能 ●免疫の重要性
20	24 免疫のしくみ②	●免疫のしくみ ●免疫の重要性 ●免疫の機能 ●免疫の重要性
27	25 免疫の応用	●免疫の応用 ●免疫の重要性 ●免疫の機能 ●免疫の重要性
11/3	26 免疫とさまざまな疾患	●免疫とさまざまな疾患 ●免疫の重要性 ●免疫の機能 ●免疫の重要性
10	27 体内環境と私たち	●体内環境と私たち ●体内環境の重要性 ●体内環境の機能 ●体内環境の重要性
17	28 身のまわりの植生①	●身のまわりの植生 ●植生の重要性 ●植生の機能 ●植生の重要性
24	29 身のまわりの植生②	●身のまわりの植生 ●植生の重要性 ●植生の機能 ●植生の重要性
12/1	30 植生の遷移	●植生の遷移 ●植生の重要性 ●植生の機能 ●植生の重要性
8	31 さまざまな植物の環境への適応	●さまざまな植物の環境への適応 ●植物の重要性 ●植物の機能 ●植物の重要性
15	32 遷移とバイオーム①～世界のバイオーム～	●遷移とバイオーム ●バイオームの重要性 ●バイオームの機能 ●バイオームの重要性
22	33 遷移とバイオーム②～日本のバイオーム～	●遷移とバイオーム ●バイオームの重要性 ●バイオームの機能 ●バイオームの重要性
<p>冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) 高校講座生体から遺伝子まで学習のための知識などを科目の期間枠をはなれて放送します。</p>		
1/12	34 生態系における生物の多様性①	●生態系における生物の多様性 ●生態系の重要性 ●生態系の機能 ●生態系の重要性
19	35 生態系における生物の多様性②	●生態系における生物の多様性 ●生態系の重要性 ●生態系の機能 ●生態系の重要性
26	36 生態系における生物間の関係	●生態系における生物間の関係 ●生態系の重要性 ●生態系の機能 ●生態系の重要性
2/2	37 生態系と人為的攪乱	●生態系と人為的攪乱 ●生態系の重要性 ●生態系の機能 ●生態系の重要性
9	38 生態系の保全①	●生態系の保全 ●生態系の重要性 ●生態系の機能 ●生態系の重要性
16	39 生態系の保全②	●生態系の保全 ●生態系の重要性 ●生態系の機能 ●生態系の重要性
23	40 生態系と私たち	●生態系と私たち ●生態系の重要性 ●生態系の機能 ●生態系の重要性
<p>春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) 高校講座生体から遺伝子まで学習のための知識などを科目の期間枠をはなれて放送します。</p>		

NHK テレビ 高校講座 地学基礎

2026年度 年間放送計画表 (案)

(2025年11月19日現在)

Eテレ 火曜日 午前10:40～11:00

※この番組は、前年度の再放送です。
※放送内容は番組や特別番組などで変更になる場合があります。その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	編	タイトル	学習のポイント
4/14	第1編 私たちの大地	1 地球の形と大きさ	●地球の大きさ ●地球の形 ●自転・公転
21		2 地球の構造とプレート	●プレート ●マントル
28		3 地球内部の動きとプレート	●リソスフェア ●マントル ●プレートテクトニクス ●マントル内部の対流
5/5	第2編 私たちの空と海	4 大地形の形成と地質構造	●地質境界 ●プレート境界 ●収束境界 ●変成作用
12		5 変成岩と変成作用	●変成岩 ●変成作用
19		6 火山噴火のしくみと地形	●マグマ ●マグマの種類 ●火山の形
26		7 火山の分布	●活火山 ●火山帯 ●ホットスポット
6/2	第3編 私たちの宇宙	8 火成岩	●火成岩 ●火成岩の種類
9		9 地震の発生	●初期地球の環境 ●プレートテクトニクス ●地震の種類と地震学
16		10 地震が起こる場所	●活断層 ●プレート内地震 ●深発地震
23	第4編 私たちの地球	11 地球の大気	●大気の種類 ●大気組成 ●温室効果
30		12 地球の大気で起こる現象	●成層圏 ●対流圏 ●中間圏・熱圏
7/7		13 地球の熱収支	●放射平衡 ●地球の熱収支 ●温室効果
14		14 大気の大循環	●大気の流れ ●ジェット気流 ●大気の大循環
21	第5編 地球に生きる私たち	15 雲と降水のメカニズム	●雲の発生メカニズム ●水循環 ●雲の役割
28		16 海水と海の運動	●海水の循環 ●海洋気候 ●深層循環
9/1		17 宇宙の誕生	●ビッグバン ●宇宙の膨らみ ●宇宙の進化
8	第6編 私たちの未来	18 恒星と銀河の誕生	●恒星の誕生 ●銀河の誕生 ●宇宙の大規模構造
15		19 銀河と天の川銀河	●天の川銀河 ●銀河の形成 ●銀河物質

【夏期講座】 8月3日(月)～8月28日(金) 高校講座全体から選んだ授業のための再放送などを科目の時間枠を空けて放送します。

※「タイトル/学習のポイント」は、制作の過程で変更になる場合があります。

22	第3編 私たちの宇宙の誕生	20 宇宙での物質循環	●星間物質 ●超新星爆発 ●星団 ●原始太陽雲 ●原始地球	
29		21 太陽系の誕生	●地球型惑星 ●木星型惑星 ●衛星の形成	
10/6		22 太陽系の構成	●恒星と地球 ●コロナ ●磁気圏 ●惑星の形成	
13	第4編 私たちの地球の歴史	23 太陽の特徴	●地球と太陽 ●太陽の活動 ●太陽風	
20		24 地球の特徴	●地球の大きさ ●地球の形 ●地球の内部構造	
27		25 地層の形成	●地層の形成 ●堆積岩 ●地質学	
11/3	第5編 私たちの地球の未来	26 地層図からわかる情報	●地層図 ●化石 ●地質年代	
10		27 地球の最初期	●原始地球 ●原始生命 ●原始生命の進化	
17		28 先カンブリア時代	●カンブリア爆発 ●オゾン層 ●氷河期	
24		29 古生代	●脊椎動物の出現 ●植物の進化 ●大気組成の変化	
12/1	第6編 私たちの地球の未来	30 中生代	●中生代の環境 ●中生代の生物 ●中生代の地質学	
8		31 新生代	●新生代の環境 ●新生代の生物 ●新生代の地質学	
15		32 地球環境の変化による生物の適応	●気候変動 ●大気組成の変化 ●生物の進化	
22	第7編 私たちの地球の未来	33 日本の自然環境の特徴	●日本の自然環境 ●日本の地形 ●日本の気候 ●日本の生物	
1/12		冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) ※12月31日～1月3日は休止です。	34 日本の自然の恵み	●日本の自然 ●日本の気候 ●日本の地形
19			35 気象災害と防災	●気象災害の種類 ●気象災害の発生メカニズム ●気象災害の予測
26		36 地震による災害と防災	●地震の種類 ●地震の発生メカニズム ●地震の予測	
2/2	第8編 私たちの地球の未来	37 火山による災害と防災	●火山の種類 ●火山の発生メカニズム ●火山の予測	
9		38 地球環境の考え方	●地球環境の種類 ●地球環境の発生メカニズム ●地球環境の予測	
16		39 人間活動がもたらす自然環境の変化	●人間活動の種類 ●人間活動の発生メカニズム ●人間活動の予測	
23	春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) ※3月31日は休止です。	40 持続可能な発展へ	●持続可能な発展 ●持続可能な発展の種類 ●持続可能な発展の発生メカニズム ●持続可能な発展の予測	

2026 NHK 高校講座 (地学基礎)